



全身疾患と歯科治療 ～糖尿病～

糖尿病とは？

糖尿病とは、生活習慣病のひとつで、血液中にブドウ糖が余り慢性的に血糖値が上がってしまう病気です。膵臓から分泌されるインスリンというホルモンが、細胞にブドウ糖を届ける働きをしているのですが、このインスリンが減ったり働きが悪くなるために、血液中のブドウ糖が細胞にうまく届かず血液中にブドウ糖が余ってしまうのです。症状としては、しきりに喉が渇く、多食多尿、全身の倦怠感、体重の減少などがあります。また、免疫反応が低下して炎症が起きやすくなったり、血流が悪くなって傷の治りが遅くなってしまいます。高血糖値の患者さんは、治療して血糖値をコントロールしないと、狭心症、心筋梗塞などの疾患や、腎不全、脳梗塞などの合併症が起こることもあります。知らないうちになっていることもあるので定期的に検診を！

**糖尿病の
患者様
ご注意
を！！**

歯科治療と糖尿病の関係って？

糖尿病になると、免疫反応が低下して炎症が起きやすくなったり、血流が悪くなって傷の治りが悪くなってしまいます。そのため歯科治療のなかでも、とくに抜歯、歯ぐきの手術をなどの外科処置をする際に、特別な配慮が必要となります。糖尿病の患者さんは、日頃から血糖値をコントロールするとともに、これまでの病歴について、問診表などで教えてください。現在の体調や、受けている治療について歯科医師から質問させて頂くことがありますが、安心、安全な歯科治療をご提供するためにとても大切なことですので、ぜひご協力をお願いします。糖尿病の患者さんは歯周病になりやすいうえその進行も早く、治りにくいことも分かっています。また近年では歯周病の治療をすることが糖尿病の改善にも役立つことも明らかになってきています。普段から歯みがきを丁寧にし、歯科医院で定期的にクリーニングを受けるなど、歯周病の予防を心掛けていきましょう。

**日頃から予防を意識してご自分の歯を守
っていきましょう。噛めるお口はからだの
元気を支えます。リスクをうまくコントロ
ールして元気に生活しましょう！**

